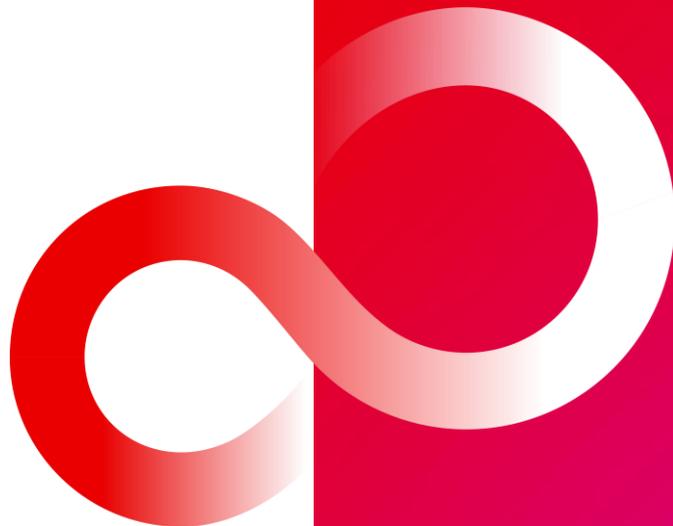


2022年度

決算概要

2023年4月27日

富士通株式会社



1. 2022年度 連結業績概要
2. 中期経営計画の振り返り
3. 2023年度 連結業績予想

1. 2022年度 連結業績概要

22年度決算概況

■ 売上収益 **37,137**億 前年比 +**5.5%** 伸長 [事業再編影響を除いたベース]

DXビジネスの拡大、部材供給問題のリカバリもすすみ、時間を追って収益は伸長
(テクノロジーソリューション 国内ビジネスの4Q受注は 116% 伸長)

■ 営業利益 **3,356**億 前年比 **1,164**億 の増益 (+**53.1%** 伸長) **最高益**

[内、テクソリ **2,631**億 " **1,281**億 (+**94.9%**)]

■ 営業利益率 **9.0%** 前年比 + **2.9%**

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
連結計 営業利益率	3.3%	5.5%	7.4%	6.1%	9.0%

1.2022年度
連結業績概要

連結 P L



(単位：億円)

	2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)		前回 (1月) 予想比
売上収益	35,868	37,137	1,269	3.5		△362
営業利益 (営業利益率)	2,192 (6.1%)	3,356 (9.0%)	1,164 (2.9%)	53.1		△393 (△1.0%)
金融損益等	207	362	154	74.5		
税引前当期利益	2,399	3,718	1,318	55.0		
当期利益(親会社所有者帰属)	1,826	2,151	324	17.8		△398

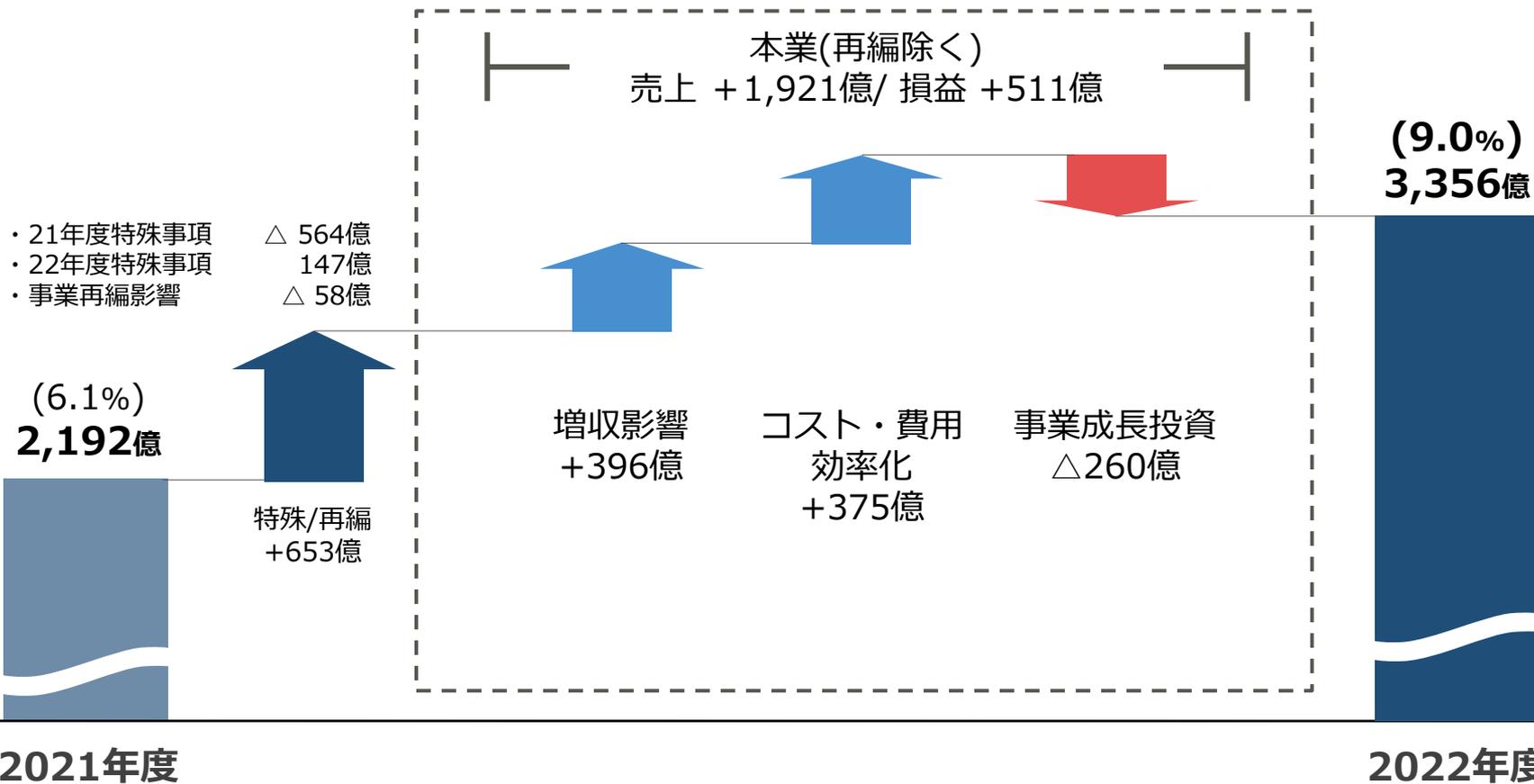
為替レート

米ドル/円	112	135	23	20.5
ユーロ/円	131	141	10	7.6
英ポンド/円	154	163	9	5.8

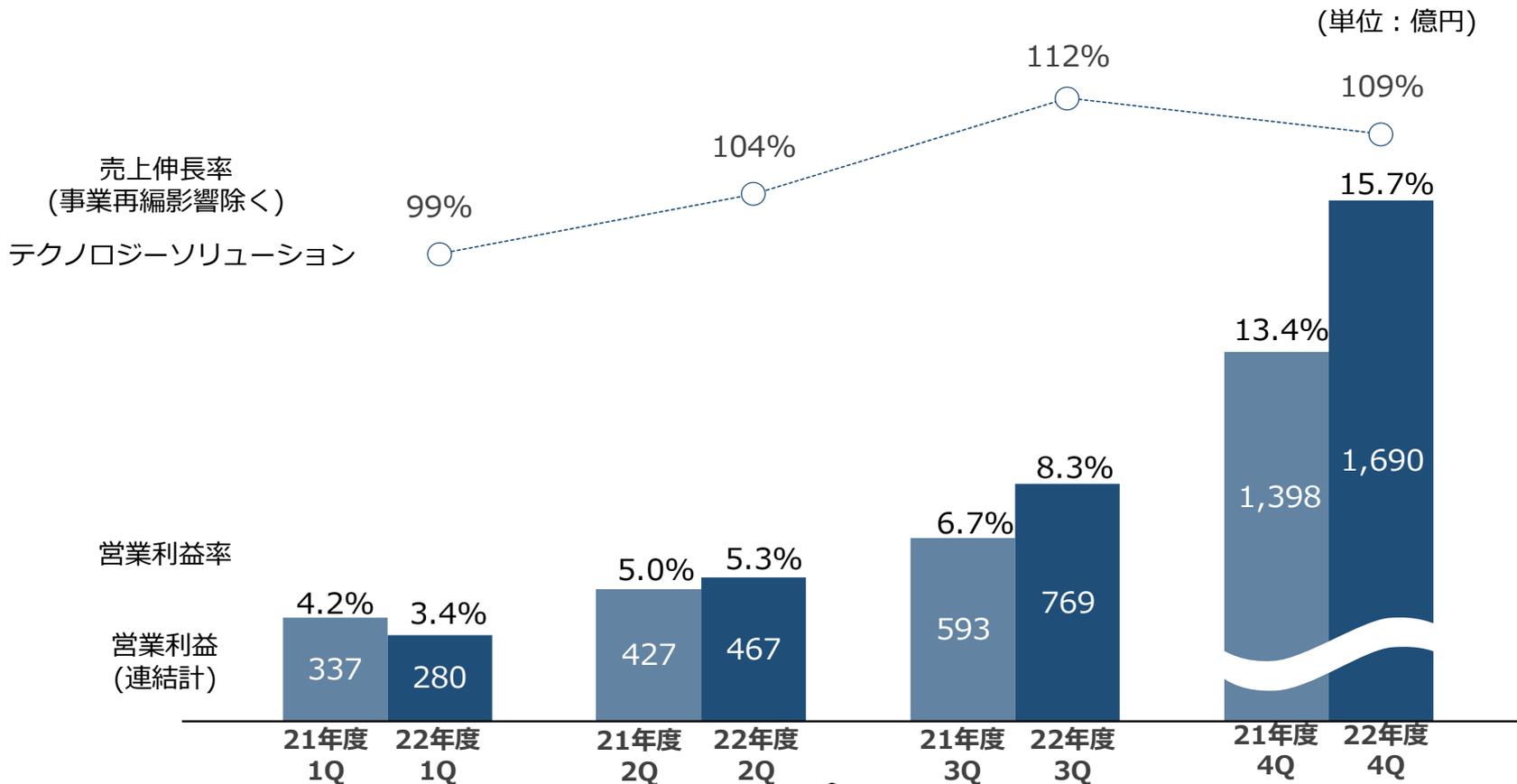
(単位：億円)

		2021年度	2022年度	前年比	増減率 (%)
本業	売上収益	35,868	37,137	1,269	3.5
	再編ビジネス	1,038	386	△651	-
	上記除く	34,829	36,750	1,921	5.5
	営業利益 (営業利益率)	2,756 (7.7%)	3,208 (8.6%)	452 (0.9%)	16.4
特殊事項(一過性損益)*	営業利益	△564	147	712	-
連結計	売上収益	35,868	37,137	1,269	3.5
	営業利益	2,192	3,356	1,164	53.1
	(営業利益率)	(6.1%)	(9.0%)	(2.9%)	

*事業再編に伴う一過性の損益、M & Aに関するコスト（アーンアウト、PPA関連コスト等）



営業利益(本業)の四半期別推移



(単位：億円)

	2022年度									
	1Q		2Q		3Q		4Q		年間	
	売上収益	伸長率 (%)	売上収益	伸長率 (%)	売上収益	伸長率 (%)	売上収益	伸長率 (%)	売上収益	伸長率 (%)
連結計(事業再編影響除く)	7,956	102	8,710	104	9,314	109	10,770	106	36,750	106

テクノロジーソリューション	6,589	99	7,277	104	7,947	112	9,564	109	31,378	106
ソリューション・サービス	3,652	96	4,117	98	4,313	105	5,724	109	17,806	103
システムプラットフォーム	1,327	94	1,682	115	1,759	122	2,011	108	6,781	110
内、システムプロダクト	873	96	1,017	108	1,044	118	1,160	104	4,096	106
内、ネットワークプロダクト	454	91	664	128	714	129	851	113	2,685	115
海外リージョン	1,851	104	1,852	109	2,284	119	2,136	112	8,124	111
共通	△ 241	-	△ 374	-	△ 409	-	△ 308	-	△ 1,334	-
ユビキタスソリューション	501	93	601	96	580	95	646	108	2,329	98
デバイスソリューション	1,041	128	1,034	110	966	95	783	79	3,826	102
全社消去	△ 176	-	△ 203	-	△ 181	-	△ 223	-	△ 784	-

■ 国内S I /サービスは年間108%伸長（4Q 114%伸長）

(単独+富士通Japan)	2022年度					(S I /サービス)
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	
エンタープライズビジネス (産業・流通・小売)	110%	105%	108%	107%	108%	(111%)
ファイナンスビジネス (金融・保険)	101%	107%	89%	113%	103%	(106%)
J a p a nリージョン (官公庁・ミッションクリティカル)	114%	99%	90%	127%	108%	(107%)
富士通Japan (自治体・ヘルスケア・文教・民需(中堅他))	107%	93%	101%	109%	103%	(106%)
ネットワーク	74%	52%	85%	124%	82%	
合計 (内、S I /サービス)	106% (107%)	94% (109%)	96% (100%)	116% (114%)	103% (108%)	

■ Europeサービスで年間7%伸長、APACサービスで20%伸長

	2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
Europe	99%	140%	88%	78%	98%
Services	105%	194%	92%	73%	107%
Products	94%	81%	83%	89%	86%
Americas	98%	87%	87%	88%	90%
Asia Pacific	83%	90%	152%	79%	98%
Services	77%	113%	219%	98%	120%
Products	89%	68%	86%	58%	75%

■ 部材供給不足の影響は、下期からリカバリへ反転

(単位:億円)

		2021年度					2022年度					
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	
部材供給遅延の 影響額	売上高	-	△ 149	△ 248	△ 383	△ 780	△ 278	△ 132	49	214	△ 147	
	損益	-	△ 71	△ 119	△ 119	△ 310	△ 129	△ 75	-	96	△ 108	
		前年比					△ 278	16	297	597	632	
							損益	△ 129	△ 4	119	215	201

■コスト費用効率化 : 375億の改善

■売上総利益 : 68億の改善 (事業再編影響除く)

- ・ソリューション・サービス ▲ … (+) S I ビジネスの生産性向上、GDC活用、品質・リスクマネジメント強化
+247億

	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	前年比
売上総利益率の推移	34.2%	34.4%	▲36.7%	▲37.9%	36.0%	2.3%▲

- ・システムプラットフォーム → … (+) 部材供給不足影響のリカバリ、(-) 前年のメインフレーム大口商談の反動減
- ・海外リージョン ▼ … (-) 為替変動による調達コスト増
- ・ユビキタスソリューション ▼ … (-) 原材料高騰及び為替変動による調達コスト増
- ・デバイスソリューション ▼ … (-) 物量減に伴う操業低下

■費用の効率化 : 306億の改善… 働き方改革の効果、遊休資産の売却等

(事業再編影響、事業成長投資を除いた営業費用及びその他損益)

事業成長投資：1,310億、前年から+460億

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	前年比
価値創造に向けた投資	350	565	215
自らの変革に向けた投資	500	745	245
合計	850	1,310	460
(営業費用)	(530)	(790)	(260)
(資産化投資)	(320)	(520)	(200)

2022年度の主な効果

- ・ Uvance売上収益 2,000億円 (+136%)
- ・ JGG/GDCオプショア活用 活用工数 92千人月 (+188%)
- ・ Borderless Office 国内事務所 359拠点 (△ 31%)

主な内容

- ・ 価値創造に向けた投資
 - オフアリング開発 (Uvance)
 - サービスデリバリー変革 (JGG/GDC強化)
 - 新規事業創出(次世代DC向けプロセッサ)
- ・ 自らの変革に向けた投資
 - 社内DX投資(One Fujitsu)
 - Work Life Shift

(単位：億円)

		2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上収益	30,563	31,765	1,201	3.9
	営業利益	1,350	2,631	1,281	94.9
ユビキタス ソリューション	売上収益	2,371	2,329	△41	△1.7
	営業利益	58	△65	△124	-
デバイス ソリューション	売上収益	3,759	3,826	66	1.8
	営業利益	783	790	7	0.9
全社消去	売上収益	△826	△784	41	-
連結計	売上収益	35,868	37,137	1,269	3.5
	営業利益	2,192	3,356	1,164	53.1

テクノロジーソリューション

(単位：億円)

テクノロジーソリューション	2021年度	2022年度	前年比	
			増減率(%)	
売上収益	30,563	31,765	1,201	3.9
再編ビジネス	1,038	386	△651	-
上記除く	29,525	31,378	1,853	6.3
営業利益	1,350	2,631	1,281	94.9
(営業利益率)	(4.4%)	(8.3%)	(3.9%)	

営業利益内訳

(本業)	(1,939)	(2,499)	(560)	(28.9)
(特殊)	(△589)	(131)	(721)	

前年比

■売上収益

ソリューション・サービスの増収に加え、
部材供給不足影響がリカバリーに転じ、
前年比6.3%伸長

■営業利益

本業は560億の増益(前年比29%)

テクノロジーソリューション (ソリューション・サービス)

(単位：億円)

ソリューション・サービス	2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
売上収益	18,405	18,193	△211	△1.1
再編ビジネス	1,038	386	△651	-
上記除く	17,366	17,806	440	2.5
営業利益	1,887	2,337	449	23.8
(営業利益率)	(10.3%)	(12.8%)	(2.5%)	

営業利益内訳

(本業)	(1,862)	(2,378)	(516)	(27.7)
(特殊)	(25)	(△41)	(△66)	

前年比

■売上収益

DXビジネス、モダナイを中心に堅調に増収

■営業利益

増収効果に加え、開発標準化に伴う生産性向上が寄与し、増益幅が拡大

本業利益は前年比516億増益（営業利益率 **12.8%**）

テクノロジーソリューション (システムプラットフォーム)

(単位：億円)

システム プラットフォーム	2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
売上収益	6,175	6,781	606	9.8
システム プロダクト	3,847	4,096	249	6.5
ネットワーク プロダクト	2,328	2,685	356	15.3
営業利益	566	689	122	21.7
(営業利益率)	(9.2%)	(10.2%)	(1.0%)	

前年比

■ 売上収益

下期以降は、部材調達遅延の着実なリカバリに加え
5G基地局、北米向け輸出の所要増により、増収

■ 営業利益

下期以降の物量増加に伴う増収により増益

テクノロジーソリューション (海外リージョン)

(単位：億円)

海外リージョン	2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
売上収益	7,293	8,124	830	11.4
営業利益	239	59	△180	△75.1
(営業利益率)	(3.3%)	(0.7%)	(△2.6%)	

営業利益内訳

(為替除く本業)	(215)	(208)	(△ 7)
(為替)	(-)	(△ 47)	(△ 47)
(特殊)	(24)	(△ 100)	(△ 124)

前年比

売上収益

サービスビジネス拡大及び為替影響に伴い、増収

営業利益

(本業)為替影響に伴うコスト増により、減益

(特殊)2021年度 欧州事業会社の譲渡益

2022年度 M & A 関連コスト増

テクノロジーソリューション (共通)

(単位：億円)

共通	2021年度	2022年度	前年比
営業利益	△1,344	△454	889
(本業)	(△ 700)	(△ 727)	(△ 26)
(特殊)	(△ 643)	(272)	(916)

■本業

自らの変革に向けた成長投資の増

- データドリブン経営実現に向けた社内DX投資(One Fujitsu他)
- Work Life Shift(働き方の変革)… オフィス環境の見直し

セキュアなネットワーク環境の構築

■特殊

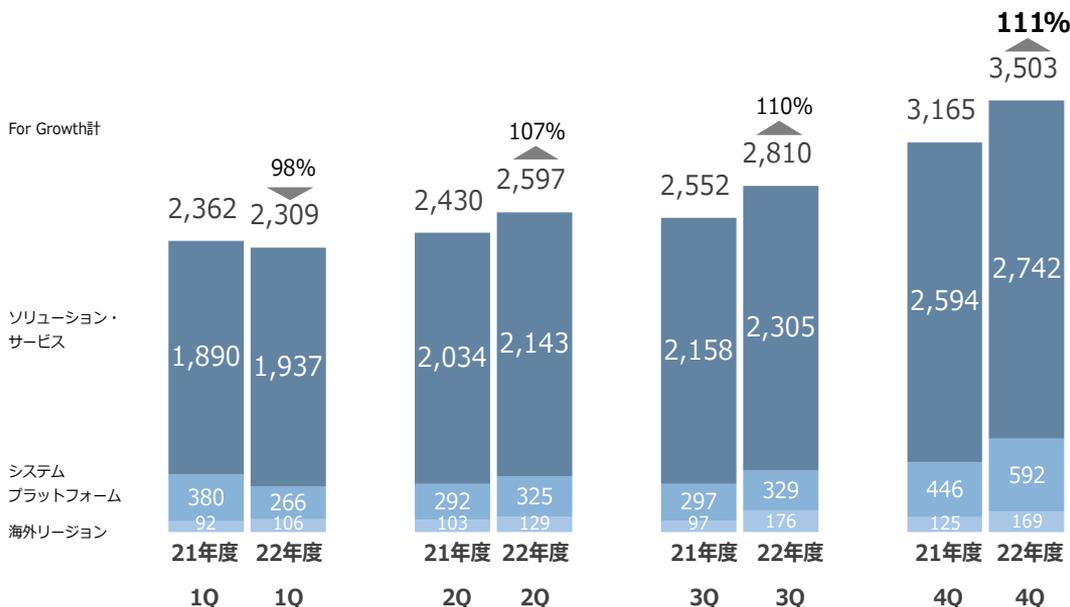
今年度：事業譲渡に伴う一過性損益

前年度：DX人材施策に伴う一過性損益

(単位：億円)

		2021年度			2022年度			前年比		
		For Growth	For Stability	合計	For Growth	For Stability	合計	For Growth	For Stability	合計
テクノロジー ソリューション	伸長率				107%	102%	104%			
	売上収益 (構成比)	10,508 (34%)	20,055 (66%)	30,563 (100%)	11,221 (35%)	20,544 (65%)	31,765 (100%)	713	488	1,201
ソリューション・ サービス	伸長率				105%	93%	99%			
	売上収益	8,677	9,728	18,405	9,128	9,065	18,193	451	△662	△211
システムプラット フォーム	伸長率				107%	111%	110%			
	売上収益	1,415	4,760	6,175	1,513	5,268	6,781	98	508	606
海外リージョン	伸長率				139%	110%	111%			
	売上収益	417	6,876	7,293	580	7,544	8,124	163	667	830
共通	売上収益	-	△1,310	△1,310	-	△1,334	△1,334	-	△23	△23

For Growthの成長は加速 (DX、モダナイ、コンサルが牽引)



ソリューション・サービス 4Q 106% (年間 105%)

DX、モダナイ、コンサルティングを中心に拡大

システムプラットフォーム 4Q 133% (年間 107%)

5G基地局、北米ネットワーク機器を中心に成長

海外リージョン 4Q 135% (年間 139%)

M & A実施によるケイパビリティ拡大

ユビキタスソリューション

(単位：億円)

ユビキタス ソリューション	2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
売上収益	2,371	2,329	△41	△1.7
営業利益	58	△65	△124	-
(営業利益率)	(2.5%)	(△2.8%)	(△5.3%)	

営業利益内訳

(為替除く営業利益)	(58)	(179)	(120)
(為替)	(-)	(△ 245)	(△ 245)

前年比

■ 売上収益

欧州の市況低迷による需要減

■ 営業利益

為替変動による調達コスト増により減益

■ デバイスソリューション

(単位：億円)

デバイス ソリューション	2021年度	2022年度	前年比	
				増減率(%)
売上収益	3,759	3,826	66	1.8
営業利益	783	790	7	0.9
(営業利益率)	(20.8%)	(20.7%)	(△0.1%)	

■ 前年比

■ 売上収益

上期まで強いデマンドが続いたものの、下期に大幅な物量減

■ 営業利益

下期デマンド減に伴い、前年並み

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	前年比
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,483	2,203	△280
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△428	164
I+II フリー・キャッシュ・フロー	1,890	1,775	△115
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,936	△3,135	△1,199
(ベース・キャッシュフロー*)	(2,118)	(2,500)	(382)
IV 現金及び現金同等物の期末残高	4,840	3,559	△1,281

*事業成長投資前フリー・キャッシュ・フローにリース料を加えたもの

- 営業キャッシュ・フロー : (－) 成長投資、棚卸資産の増加、DX人材施策に関する支払
(+) 当期利益の拡大
- 投資キャッシュ・フロー : (+) 非注力事業のカーブアウト、政策保有株式縮減
- 財務キャッシュ・フロー : 自己株式の取得(1,500億)、社債の償還及び配当を中心に支出

(単位：億円)

	2021年度末	2022年度末	前年度末比
資産	33,318	32,655	△662
負債	16,160	15,287	△873
資本（純資産）	17,157	17,368	210
親会社所有者帰属持分（自己資本）	15,907	15,868	△38

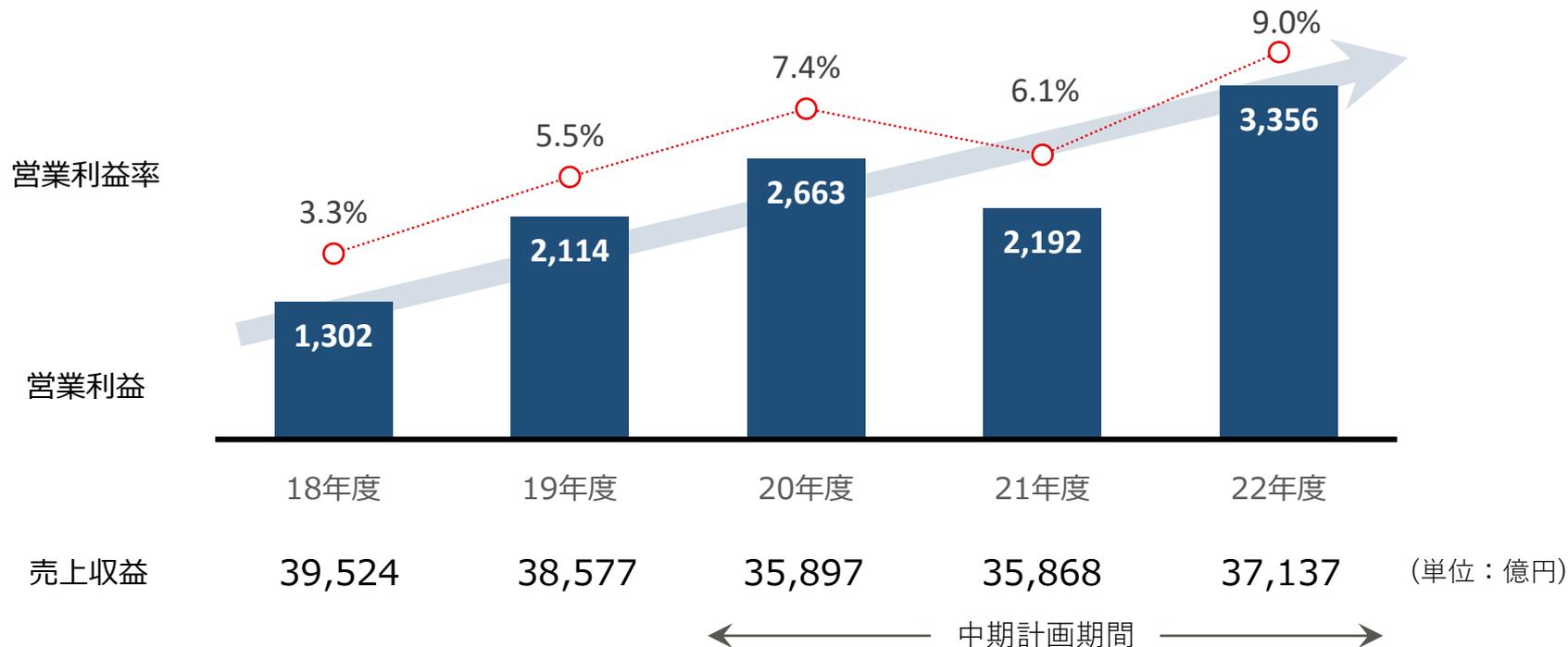
(ご参考)財務指標

有利子負債 (ネット有利子負債)	2,853 (△1,987)	2,111 (△1,447)	△741 (539)
---------------------	-------------------	-------------------	---------------

2. 中期経営計画の振り返り

営業利益の推移

収益性を継続的に強化しながら、利益規模を着実に拡大



成果と課題

テクノロジー
ソリューション

- **ソリューション・サービス** **12.8%** (22年度営業利益率)
 - ・競争優位性を維持・強化しながら、DXサービス領域へシフト
 - ・オフショア開発拡大、共通費用圧縮による採算性向上
- **システムプラットフォーム** **10.2%**
 - ・ネットワーク事業の立て直し、5G需要の取り込み
 - ・部材調達遅延と為替影響による悪化を一部リカバリー
- **海外事業** **0.7%**
 - ・環境悪化を跳ね返す体力とスピードが不足し、足踏み状態
- **デバイス事業** **20.7%**
 - ・電子部品事業で想定以上の需要を取り込み、円安も追い風

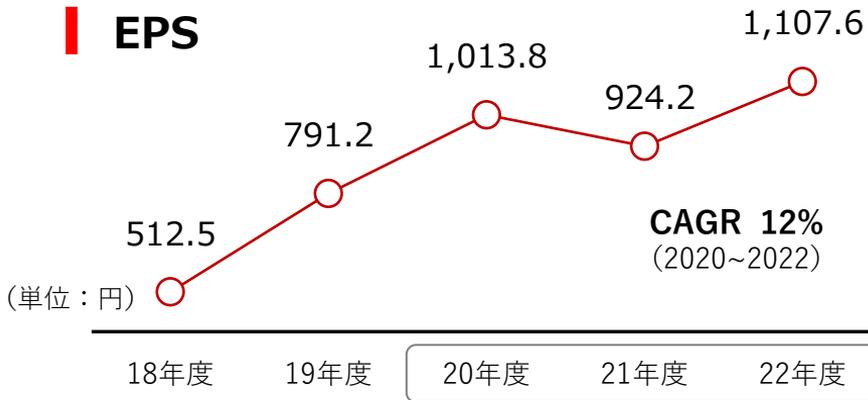
デバイス・ユビキタス



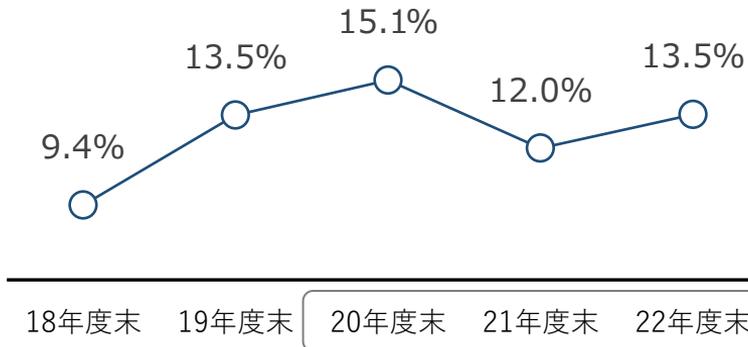
2. 中期経営計画の振り返り

財務指標および株主還元

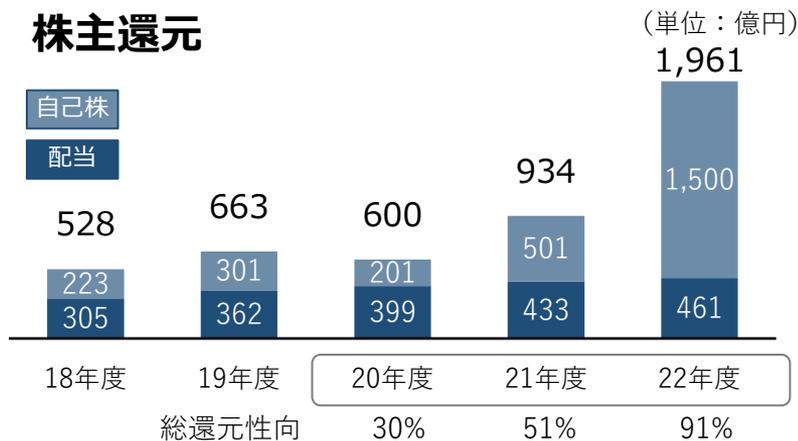
EPS



ROE



株主還元



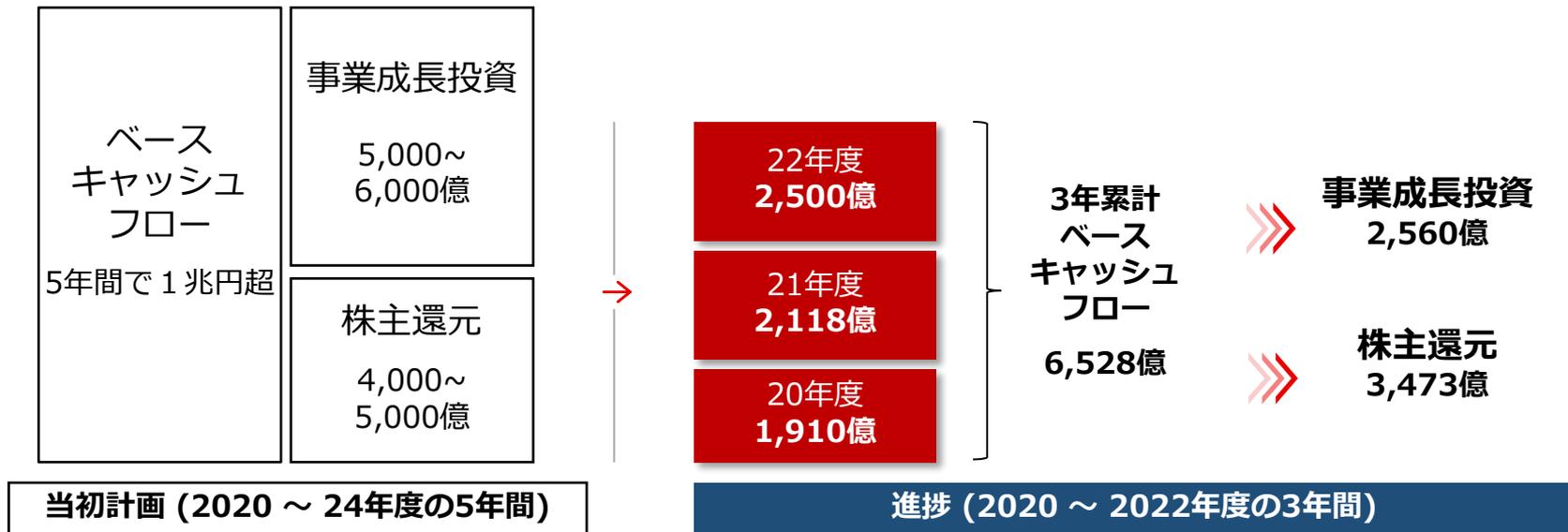
株価



キャピタルアロケーション

- **ベース・キャッシュフロー***：計画を上回るスピードで拡大
- **キャッシュフロー拡大の蓋然性をふまえて、株主還元を22年度から先行して規模拡大**

* 事業成長投資前フリー・キャッシュ・フローにリース料支払を加えたもの



3. 2023年度 連結業績予想

(単位：億円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	前年比	
				増減率(%)
売上収益	37,137	38,600	1,462	3.9
営業利益 (営業利益率)	3,356 (9.0%)	3,400 (8.8%)	43 (△0.2%)	1.3
当期利益 (親会社所有者帰属)	2,151	2,180	28	1.3

為替レート

米ドル/円	135	130	△5	△3.7
ユーロ/円	141	140	△1	△0.7
英ポンド/円	163	160	△3	△1.8

(単位：億円)

		2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	前年比	増減率 (%)
本業	売上収益	37,137	38,600	1,462	3.9
	営業利益	3,208	3,400	191	6.0
	(営業利益率)	(8.6%)	(8.8%)	(0.2%)	
特殊事項(一過性損益) *1	営業利益	147	-	△147	△100.0
連結計	売上収益	37,137	38,600	1,462	3.9
	営業利益	3,356	3,400	43	1.3
	(営業利益率)	(9.0%)	(8.8%)	(△0.2%)	

*1 事業再編に伴う一過性の損益、M&Aに関するコスト(アーンアウト、P PA関連コスト等)

(単位：億円)

		2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	前年比	前年比の増減
テクノロジー ソリューション	売上収益	31,765	33,000	1,234	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上収益 ソリューション・サービス 108.8% システムプラットフォーム 91.4% 海外リージョン 100.9% Fujitsu Uvanceを中心としたサービスの拡大 ・ 営業利益 ソリューション・サービスの増収効果に加え 生産性向上による採算性改善
	本業	2,499	2,880	380	
	(%)	(7.9%)	(8.7%)	(0.8%)	
	特殊	131	-	△131	
	営業利益	2,631	2,880	248	
	(%)	(8.3%)	(8.7%)	(0.4%)	
ユビキタス ソリューション	売上収益	2,329	2,450	120	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上収益 105.2% ・ 営業利益 採算性の改善
	本業	△65	-	65	
	(%)	(△2.8%)	(-%)	(2.8%)	
	特殊	-	-	-	
	営業利益	△65	-	65	
	(%)	(△2.8%)	(-%)	(2.8%)	

(単位：億円)

		2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	前年比	前年比の増減
デバイス ソリューション	売上収益	3,826	3,750	△76	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上収益 98.0% ・ 営業利益 為替影響、償却費負担増
	本業	774	520	△254	
	(%)	(20.2%)	(13.9%)	(△6.3%)	
	特殊	16	-	△16	
	営業利益	790	520	△270	
	(%)	(20.7%)	(13.9%)	(△6.8%)	
全社消去	売上収益	△784	△600	184	
連結計	売上収益	37,137	38,600	1,462	
	本業	3,208	3,400	191	
	(%)	(8.6%)	(8.8%)	(0.2%)	
	特殊	147	-	△147	
	営業利益	3,356	3,400	43	
	(%)	(9.0%)	(8.8%)	(△0.2%)	

事業別セグメント情報 (テクノロジーソリューション内訳)

(単位：億円)

		2022年度 (実績)			2023年度 (予想)			前年比		
		本業	特殊		本業	特殊		本業	特殊	
テクノロジー ソリューション	売上収益	31,765	31,765	-	33,000	33,000	-	1,234	1,234	-
	営業利益	2,631	2,499	131	2,880	2,880	-	248	380	△131
ソリューション・ サービス	売上収益	18,193	18,193	-	19,800	19,800	-	1,606	1,606	-
	営業利益	2,337	2,378	△41	3,290	3,290	-	952	911	41
システム プラットフォーム	売上収益	6,781	6,781	-	6,200	6,200	-	△581	△581	-
	営業利益	689	687	1	330	330	-	△359	△357	△1
海外リージョン	売上収益	8,124	8,124	-	8,200	8,200	-	75	75	-
	営業利益	59	160	△100	220	220	-	160	59	100
共通	売上収益	△1,334	△1,334	-	△1,200	△1,200	-	134	134	-
	営業利益	△454	△727	272	△960	△960	-	△505	△232	△272

■ソリューション・サービス DXビジネス拡大と生産性の継続的向上で利益は力強く伸長
[売上収益 109%、営業利益 +911億の増益]

- ① 売上収益の拡大 +600億 …… Fujitsu UvanceなどDXビジネス 及び モダナイゼーションビジネスの拡大
- ② 生産性の向上 +300億 …… デリバリーモデルの標準化・自動化の更なる進化、商談良質化
データ利活用による品質マネジメント強化/トラブル未然防止

■システムプラットフォーム ネットワークビジネスは次世代技術に向け転換、先行投資サイクルへ
[売上収益 91%、営業利益 △357億の減益]

- ① ネットワーク減収 △200億 …… 5G関連の初期投資需要はピークアウト、北米フォトニクスはオープン化への転換点
- ② 先行投資の増加 他 △150億 …… 光新技術やオープン化に向けた開発投資の拡大（24年度後半から需要拡大）
人件費UP 及び 前年度の資産売却益の反動減

- 収益力の強化・拡大と運転資本効率の改善により**キャッシュ創出力**の拡大を図る
- コア・フリーキャッシュフロー*：経常的なキャッシュ創出力を示す指標として重視

(* F C F から事業売却収入、M&A及びビジネスモデル変革などの一過性の収支を除く)

(単位：億円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	前年比
フリー・キャッシュフロー	1,775	1,700	△75
コア・フリーキャッシュフロー	1,571	2,250	679
一過性の収支 (※)	204	△550	△754

※ 主に22年度の事業売却収入等、23年度のM&A関連支出等

年間20円増配を実施し、2023年度の総還元額は前年を上回る1,979億円を計画

配当：安定的で着実な増配

1株あたり	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)
中間	110円	120円	130円
期末	110円	120円	130円
年間	220円	240円	260円



自己株式取得：機動的に実施 1,500億円

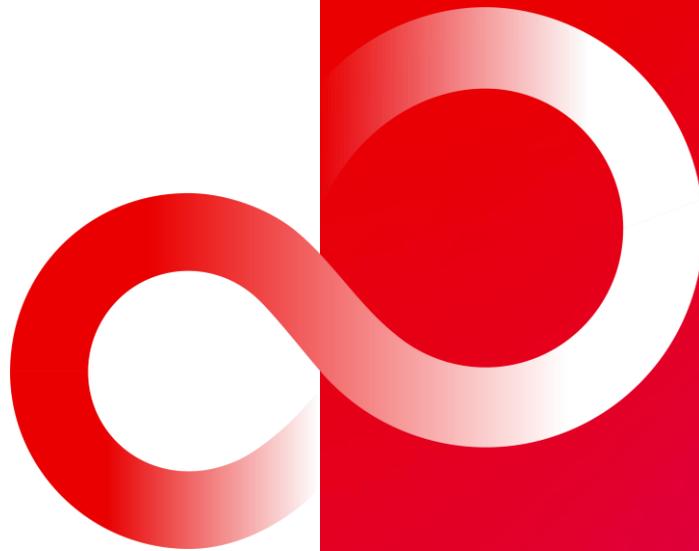
- 急激な事業環境の変化、大幅な資金需要の増加、インサイダー取引規制上の理由等により、一部または全部の取得が行われない可能性もあります

総還元額

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)
配当総額	433	461	479
自己株式取得額	501	1,500	1,500
総還元額	934	1,961	1,979
総還元性向	51%	91%	91%

Thank you



免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- 主要市場における景気動向(特に日本、欧州、北米、オセアニア、中国を含むアジア)
- 為替動向、金利変動
- 資本市場の動向
- 価格競争の激化
- 技術開発競争による市場ポジションの変化
- 部品調達環境の変化
- 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- 公的規制、政策、税務に関するリスク
- 製品、サービスの欠陥や瑕疵に関するリスク
- 不採算プロジェクト発生の可能性
- 研究開発投資、設備投資、事業買収・事業再編等に関するリスク
- 自然災害や突発的事象発生のリスク
- 会計方針の変更

補足資料

事業別セグメント情報 (四半期別損益推移)

(単位：億円)

		2021年度				2022年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
テクノロジー ソリューション	売上収益	6,870	7,257	7,381	9,054	6,822	7,431	7,947	9,564
	営業利益	170	241	402	535	22	501	551	1,555
ソリューション・ サービス	売上収益	3,986	4,467	4,375	5,574	3,884	4,271	4,313	5,724
	営業利益	201	365	382	938	299	337	572	1,127
システム プラットフォーム	売上収益	1,408	1,458	1,442	1,866	1,327	1,682	1,759	2,011
	営業利益	79	78	58	350	5	83	241	359
海外リージョン	売上収益	1,772	1,694	1,923	1,904	1,851	1,852	2,284	2,136
	営業利益	22	28	116	71	△61	△29	△13	163
共通	売上収益	△296	△363	△359	△291	△241	△374	△409	△308
	営業利益	△133	△230	△154	△825	△219	109	△248	△95
ユビキタス ソリューション	売上収益	538	627	608	596	501	601	580	646
	営業利益	16	34	6	1	△31	△11	△26	3
デバイス ソリューション	売上収益	810	941	1,017	989	1,041	1,034	966	783
	営業利益	151	201	242	188	264	264	197	64
全社消去	売上収益	△200	△217	△202	△206	△176	△203	△181	△223
連結計	売上収益	8,019	8,610	8,805	10,433	8,188	8,864	9,314	10,770
	営業利益	337	477	651	725	256	753	723	1,623

事業別セグメント情報 (国内海外売上高)

(単位：億円)

		2021年度	2022年度	前年比	増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上収益	30,563	31,765	1,201	3.9
	国内	21,312	21,307	△4	-
	海外	9,251	10,458	1,206	13.0
ソリューション・ サービス	売上収益	18,405	18,193	△211	△1.1
	国内	17,951	18,001	50	0.3
	海外	453	191	△262	△57.8
システム プラットフォーム	売上収益	6,175	6,781	606	9.8
	国内	4,165	3,961	△204	△4.9
	海外	2,009	2,819	810	40.3
海外リージョン	売上収益	7,293	8,124	830	11.4
	国内	6	5	-	△13.5
	海外	7,287	8,119	831	11.4
共通	売上収益	△1,310	△1,334	△23	-
ユビキタス ソリューション	売上収益	2,371	2,329	△41	△1.7
	国内	1,296	1,434	137	10.6
	海外	1,074	895	△178	△16.6
デバイス ソリューション	売上収益	3,759	3,826	66	1.8
	国内	870	896	26	3.0
	海外	2,889	2,930	40	1.4
全社消去	売上収益	△826	△784	41	-
連結計	売上収益	35,868	37,137	1,269	3.5
	国内	22,698	22,902	203	0.9
	海外	13,169	14,234	1,065	8.1

海外売上比率

36.7%
45

38.3%

1.6%

海外リージョンの内訳

(単位：億円)

		2021年度	2022年度	前年比	
海外リージョン	売上収益	7,293	8,124	830	
	営業利益	[215] 239	[160] 59	[△55]	△180
Europe	売上収益	5,422	5,781	358	
	営業利益	[102] 144	[59] 41	[△42]	△102
Americas	売上収益	415	526	111	
	営業利益	[14] 14	[29] 26	[14]	11
Asia Pacific	売上収益	1,289	1,618	328	
	営業利益	[63] 45	[55] △24	[△7]	△70
East Asia	売上収益	342	448	105	
	営業利益	[4] 4	[15] 15	[11]	11
その他/消去	売上収益	△176	△250	△74	
	営業利益	[30] 30	[-] -	[△30]	△30

(注)売上収益には、地域間の内部売上収益を含みます。 []内は特殊事項除く本業

(単位：億円)

	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)
有利子負債 (ネット有利子負債)	3,163 (△1,655)	2,853 (△1,987)	2,111 (△1,447)
D/Eレシオ	0.22倍	0.18倍	0.13倍
自己資本比率	45.5%	47.7%	48.6%
ROE (親会社所有者帰属持分当期利益率)	15.1%	12.0%	13.5%
EPS (基本的1株当たり当期利益)	1,013.78円	924.21円	1,107.63円

①為替レート（平均）・為替感応度

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	為替感応度 2023年度 (予想)※
米ドル/円	112	135	130	△8 億円
ユーロ/円	131	141	140	0 億円
英ポンド/円	154	163	160	0 億円

※1円の為替変動(円高)による営業利益への影響額(概算)

連結業績予想の前提条件等

②設備投資・減価償却費（有形固定資産）

（単位：億円）

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)
テクノロジーソリューション	464	486	450
ユビキタスソリューション	-	-	-
デバイスソリューション	425	723	750
設備投資	889	1,210	1,200
減価償却費	895	896	900

設備投資、減価償却費にはIFRS16号（リース）適用の影響を含んでおりません

③研究開発費

研究開発費 (売上収益比)	1,053 (2.9%)	1,095 (3.0%)	1,100 (2.8%)
------------------	-----------------	-----------------	-----------------